

新型コロナウイルス感染症 (Covid-19) に対する口腔清掃の重要性

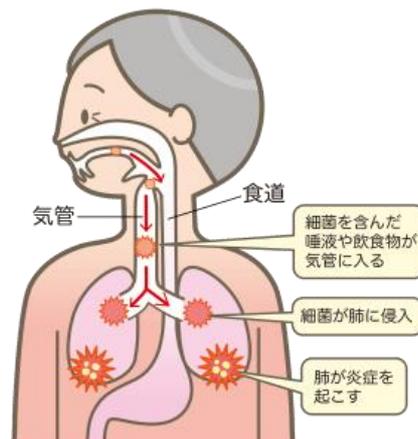
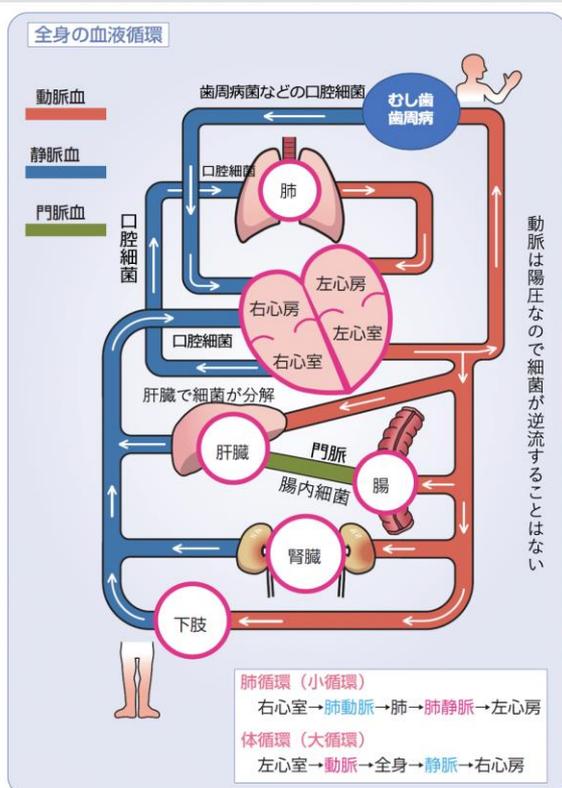
鶴見大学歯学部探索歯学講座教授 花田信弘

はじめに

新型コロナウイルス 感染症 (Covid-19) に対する口腔清掃の重要な役割を長年にわたり口腔感染症の研究を続けてきた立場から患者様にメッセージを送りたいと思います。

肺炎について

この感染症の病原体はウイルスで、その受容体（ウイルス粒子と結合する物質）は肺胞に多く存在しますので、深い息をしてウイルス粒子が肺胞に入るとウイルス性肺炎を起こします。実は、Covid-19のウイルス性肺炎はそれほど怖いものではなく、その後に見れる「細菌性肺炎」が発症・重症化して死亡に至る恐ろしい肺炎であることがわかってきました。細菌性肺炎の細菌はどこから来るのでしょうか？全身の血液循環の図を左下に示します。細菌性肺炎を起こす細菌が、むし歯や歯周病に由来することがわかります。腸の細菌は肺には入りません。もう一つのルートは右下に描かれた気管です。口の細菌は食道から胃に入るだけでなく気管から肺に入ります。



細菌性肺炎を予防する口腔清掃

「口腔細菌の制御」が新型コロナウイルス感染症（Covid-19）の発症と重症化を防ぐ重要なポイントです。

「口腔細菌の制御」の意味

「口腔細菌の制御」は現在の新型コロナウイルス感染症（Covid-19）の重症化予防だけでなく、すでにインフルエンザウイルスによる肺炎の重症化予防、誤嚥性肺炎の予防に重要であることがわかっています。それだけではありません。女性のがん死亡の第一位である大腸がんの予防にも有効であることがわかりました。つまり、大腸がんに限らず、口腔咽頭がん、膵臓がんなどがんの発症に関与する細菌が口腔で増殖しているのです。「口腔細菌の制御」はがんの予防の他にも循環器病、関節リウマチ、認知症、気分障害などほぼすべての生活習慣病の予防にも役立つことがわかってきました。

これまで病気の予防方法がわからなかった時代では、病気の治療や病人の看護が重要でした。しかし、現在では病気の予防方法が具体的に明らかになっています。厚生労働省は、栄養、運動、休養、禁煙、節酒、歯・口腔の健康の6つが生活習慣病の予防に有効であることを発表しています。